



大 報 おおおじね

昭和46年 9月25日 No. 223

編集と 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
発行 企画室 企画係
(電話 大根占局 2-0511~0515)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 2-0140)

町の 昭和46年 9月1日 現在推計人口
人口 男 4,858 人 計 10,681 人
女 5,823 人
前月より 28人減

昭和45年度施行の 主な建設事業の内容

事業名	延長など	事業費
松尾線改良	720m	1194万円
町道舗装	1.739"	771
馬場中原橋	49.1"	972
都市計画		900
公営住宅建設	8戸	694
林道川床線	620m	693
農道池山線	590"	607
" 神川線	365"	404
城元用排水路	231"	300
防火水槽	40㎡(3基)	115
負担金		
港 湾	城ヶ崎堂之元	850
高潮対策	(山ノ口)	140
県道舗装	(宿利原)	121

(1) 歳入

区 分	決 算 額	構成比
1 町 税	39,338	9.6
2 自動車取得税 交 付 金	3,031	0.7
3 地方交付税	207,531	50.5
4 国県支出金	68,635	16.7
5 財産 収入	23,899	5.8
6 繰 越 金	6,041	1.5
7 町 債	38,700	9.4
8 そ の 他	23,729	5.8
合 計	410,904	100.0

(2) 歳出

合 計	決 算 額	構成比
1 人 件 費	125,033	31.3
2 物 件 費	42,979	10.8
3 維持補修費	9,849	2.5
4 扶 助 費	16,810	4.2
5 補 助 費	21,798	5.5
6 公 債 費	2,555	0.6
7 積立金貸付金	18,141	4.6
8 建設事業他	138,677	34.7
合 計	398,837	100.0

昭和四十五年度も近年の過疎現象のため、町税など町独自の収入の伸びが低く、一方支出要素については、借入金返済、公共施設整備事業費、人件費などどうしても避けられぬものがあったことから、予算調製に誠に苦勞し、ゆとりのない予算を作成執行してまいりました。

道路など公共施設の建設、改良については、みなさんの日常生活に最も密接な関係にあることから、予算について配慮してまいりましたが、幸いにして過疎法が成立、四十五年度事業分が対象にされることになりましたので、前年度より事業費を伸ばすことができました。

このような財政事情のなかで結局別図のとおり決算となりました。歳計剰余金一、二〇〇万円余りは、才計剰余金は決算規模の約三パーセント程度といわれておりますので、妥当な数値といわれます。従って、形式的には健全財政であったといえます。しかし、必要性が充分にありながら予算化できなかったものもありましたので、決して明るい財政状況であるとはいえません。経済の発達、社会の進展に伴って、今後ますます財政需用

昭和四十五年度決算ができましたので、みなさんに最も関係の深い一般会計についてそのあらましをお知らせします

前年度より一七・四%の伸び

昭和四十五年度の決算総額

三億九千八百八十七千円

一般会計決算収支の状況 (千円)

区 分	44年度	45年度
1 歳 入 総 額	345,689	410,904
2 歳 出 総 額	339,648	398,837
3 歳入歳出差引額	6,041	12,067
積 立 金 現 在 高		4,721
地 方 債 現 在 高		253,767



あら、今日もきてくいやしたな……
といつも感謝されています。

※ 老人家庭奉仕員

人口の老齢化に伴い、ますます増加する傾向にある老人については、数々の福祉の手だてがなされております。めぐまれない独居、寝たきりの老人の相談相手になったり身のまわりの世話をする老人家庭奉仕員もその一つです。本町にもこの老人家庭奉仕員(下村シヅ)を一人おき老人の世話に当らせております。現在八人の老人を受け持ち、週に二、三回訪問し、ふき掃除から洗たく、身のまわりの世話、買物、代筆などその仕事は誠に中広く、非常に感謝されております。

今後このような手をさしのべなければならぬような老人は、ますます増加するようです。ですから町としても余生を安心して過ごさるよう力を注いでまいりたいと思っております。

町民体育大会を みんなで盛りあげましょう

10月の恒例の行事となった町民体育大会が、今年も10日の体育の日に開かれることになりました。この大会もことしで第六回目を迎えようとしております。町民みんながこぞつて参加し、大会を盛大にいたしましょう。なお、くわしいことは後日部落長さんから通知があります。

町民ひろば

秋の全国交通安全運動
大根占小学校、池田小、中学校、神川小学校運動会
町民体育大会
胃の集団検診(三十五才以上)、料金五百円、ただし、国保被保険者は半額負担
行政相談所開設、役場会議室 無料
10月中旬 県畜産共進会(加治木)
10月15 百日セキ・ジフテリ
10月下旬 インフルエンザ予防接種
高令者宅を訪問
「敬老の日」に
町では、九月十五日の「敬老の日」に九十才以上のかたがたを訪問、まだまだ長生きしていただくようはげまし、慰問品をさしあげました。
町内の九十才以上のかたが

三人目以降の児童手当が

最初の年は五才未満の児童へ

〔住民課〕 児童手当制度はわが国社会保険制度のなかでまだ実現していない唯一の制度として、また児童福祉の増進をはかるうえでの重要な制度として、その早期実現がかねてから懸案となっていました。が、さきの国会で法が成立し、いよいよ明年一月から実施されることになりました。そこでこの制度のおもな点について紹介しましょう。

一 制度の目的

児童を養育している人に児童手当を支給することによって、児童の育成の場である家庭における生活の安定をはかるとともに、次代の社会をなう児童の健全な育成と資質の向上をはかることを目的としています。

二、支給を受けられる人と手当の額

三人目以降の児童は段階的に拡大することになっておりますので、最初の年（昭和四十七年一月一昭和四十八年三月）はこれを五才未満の児童とし、昭和四十八年四月から昭和四十九年三月までは十才未満の児童にひろげ、昭和四十九年四月からは義務教育終了前の児童となります。

十八才未満の児童を三人以上養育している者に対して、三人目以降の児童で義務教育終了前のもの一人につき月額三千円の手当が支給されます。ただし、その人が高額の所得がある場合には、支給されないことになっています。昭和四十六年度では扶養親族など五人の場合で前年の収入が二百万円以上であるときは支給されません。

なお、支給の対象となる三人目以降の児童は段階的に拡大することになっておりますので、最初の年（昭和四十七年一月一昭和四十八年三月）はこれを五才未満の児童とし、昭和四十八年四月から昭和四十九年三月までは十才未満の児童にひろげ、昭和四十九年四月からは義務教育終了前の児童となります。

三、支給を受ける方法

児童手当の支給を受けようとする人は、役場に申し出て町長の認定を受けることとなります。

認定されれば、毎年二月、六月、十月の三回に分けて、児童手当の支給を受けようとする人は、役場に申し出て町長の認定を受けることとなります。

消防記念日

「自動車」中央分団 「小型」池田分団

それぞれ優勝

昇任者
神川分団部長 前野満彦
今村集美
神川分団班長 福岡 勇
西園 希

退任者
中央分団 宮下秀樹
神川分団 岩崎秀彦

永年勤続功労章 長浜 登
日本消防協会総裁表彰
勳章章 中原正男
県消防協会総裁表彰
功績章 前迫文哉

精進章 福岡正男、川辺政人、谷口盛明、小田国夫、中原正男、岩崎秀彦、中野 勇喜

勳章章（三十年） 中原正男
（二十年） 下之園賢勇
上鶴一男、真戸原三郎

消防操法成績
①自動車部 ①中央分団
②神川分団 ③池田分団
▲新入団者
中央分団 長賢一、川辺政文
添田健二

▲小型動力ポンプの部 ①池田分団 ②宿利原分団

農地の取得資格は どのように変わったか

農地を買ったり、借りたりする場合は、原則として、農業委員会の許可を受けなければなりません。この場合、農地を買ったり、借りたりすることができ、借りの資格が次のように改められております。

① いわゆる上限面積の制限は廃止されました。

農地の権利を取得しようとする者またはその世帯員が、その取得後において耕作すべき農地のすべてについて、みづから農業を行い、かつその農業に必要な作業があるかぎりいつもその作業に従事するに認められる場合には、どんなにその面積が大きくなっても、また他人を雇っても、許可できるようにになりました。

② いわゆる下限面積については取得前に三〇アールを耕作していなければならなかったのですが、これが取得後五〇アール以上の規模にならなければならぬように改められました。

町民のみなさんへ

前田 友二

さる五月十二日図らずも私勳五等そう光旭日章叙勲の恩命に浴し身に余る光栄と存じますと共に、公人としての責任を痛感いたしております。

伝達式には本県から四人、全国で四〇三人が出席し、国立劇場で行なわれ、午後からは天皇陛下のおことばをいただき感激で胸はいっぱいでした。

今回の受章は先輩、同僚、そしてみなさんのご指導、ご協力の賜ものと感謝いたして



◎ 旧金鵄勲章叙賜者に銀杯が〃

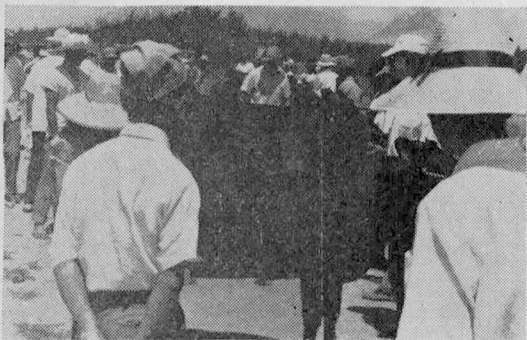
昭和15年4月29日付で金鵄勲章を授与されたもので、現在生存している者、ならびに昭和38年4月1日以降死亡した者の遺族に、内閣総理大臣から銀杯が贈られます。

該当者でまだ届出の終っていないかたは、至急、次のところへ届出ください。

届出先 県援護課か 神川城の福永幸雄さんへ

校 区 別 成 績

校區別	区分	頭数	合計	平均	45年度	本年度
大根占		17	1.535	90.0	2	2
神川		19	1.615	85.0	4	4
宿利原		18	1.636	90.7	1	1
池田		16	1.405	87.8	3	3



つぼぞろいの
品評会もよう

優勝、またも宿利原校区

ことしの畜産品評会から

〔経済課〕 昭和四十六年度町和牛品評会は、さる八月二十七日花ノ木家畜市場で開かれました。今年の出場頭数は七十八頭、昨年より二十頭余りふえております。

これは、農家の和牛に対する関心が高まってきたことを物語っています。

本町の和牛も質が非常によくなっており、郡の共進会では立派な成績がでるものと期待されています。

入賞者は次のとおり、二位、三位に

▲生後12ヶ月未満
①永山栄 岩崎秋夫 木下純夫 丸田強、命苦栄吉、笹原未夫

▲生後15ヶ月未満
谷口年行、貴島正清、田中一、中野繁雄、中野良夫、永吉勇

▲生後21ヶ月未満
笑喜みね、小川友志、押領司、皆倉貞夫、葛浦清彦

▲生後21ヶ月以上
中村昭夫、中野繁雄、大園与蔵、岩下春夫、水森森二、貴島正清、岩下利夫

▲生産牛
永山秀好、西北喜左エ門

▲系統牛
大園与蔵、前野勇、大園友二

▲乾燥草
笹原グループA、B、上玉利昭、川南グループA、B、永山香、中野栄吉



三十八年間歯科界に貢献

蘭牟田繁男さん表彰さる

坂元歯科医院に勤務されている蘭牟田繁男さん(六十才)は、さる六月十三日に県歯科医師会から表彰状を授与されました。この表彰は永年にわたり同一診療所において歯科業務に従事、歯科界に貢献したというものです。

同氏は、学校を卒業と同時に当時垂水市で歯科医院を開業していた叔父のもとで六年間勉強、技工の技術を修得、昭和八年に現在勤務している坂元歯科医院に勤めて以来、三十八年間の永年勤続となつていいます。

一口に三十八年といましてもその間には戦争などによる不況、物資不足などから歯科医療にも多難な時代があったことと思われれます。このような事情も克服され地道に患者のために働いてこられた同氏には感銘するものがあります。

同氏は、学校を卒業と同時に当時垂水市で歯科医院を開業していた叔父のもとで六年間勉強、技工の技術を修得、昭和八年に現在勤務している坂元歯科医院に勤めて以来、三十八年間の永年勤続となつていいます。

〔季節の話題〕

秋晴れ
お天気の統計によりますと全国的に晴れの日数の多いのは十月です。これは五月のさつき晴れとならんで、日本の秋は正にすぎとおそろいな空になります。

秋晴れの日。その日の朝早くからパンパンと、景気のよい打上げ花火の音は、幼稚園や小学校で、運動会を挙行しますという合図です。子供たちは、この日を胸おどらせて待っていたこ

とでしよう。お母さん方もうへは、あしたのお天気が気になり、おべんとうなどの仕込みにも少し気がもめたことでしょう。ですが、もう大じようぶ、本日挙行の花火の音とともに、手ぎわよくこしらえて、お子さんといっしょにお出かけください。

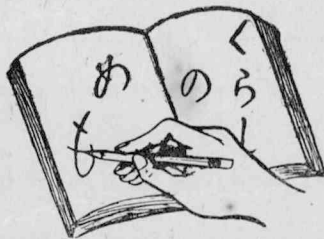
運動会は、勝っても負けてもたのしい行事だと割り切ってお子さんの競技を見てあまり深刻に考えないことです。いつもビリビリか走れない子ども、今に泣きだしそうな顔をして走る心の重さ、見ている

こんにちは

保健所です

秋の夕日にてるやまもみじ……と鼻歌も秋にかわり、八百屋の店頭も栗、柿、青みかん、からいもと秋の香りや味でいっぱい。夏の間暑さにバテて食欲も減退し、アクビダラダラ出たりする今日この頃、疲れきった体を食欲の秋でとりもどしましょう。

「我が家の食生活設計」のリーフレットの活用は如何でしょうか。台所のすみにははられてあります。今回はタマゴ、肉、魚、大豆食品についてお話ししたいと思います。



「田舎の肉」「畑の肉」といわれますのもタンパク質を多量に含んでいるからです。タマゴは一日一、二個は必要です。牛乳ぎらいの

筋肉、内臓、毛髪、脳、つめをつくります。子供に良質なタンパク質を沢山あたえて、適度に運動させるといふことは、筋肉が動けば動くほどタンパク質は筋肉につきまします。適度な運動も大切です。

子供はタマゴに変えられても結構です。人間の体は中性弱アルカリ性のときがいちばん健康な状態です。卵白はアルカリ性、卵黄は酸性です。栄養的にも完全なる食品です。多くとりすぎると血が酸性になりますので野菜や果物納豆などといっしょにとるといいじようぶです。次に肉、魚、大豆食品は牛肉、豚肉、ハムソーセージ、かしわ、カマボコ、チカラ、豆腐、きな粉、納豆、油揚げなどです。必要量は一日大人の男性で二〇グラム、女性で一八〇グラムと

野球部「優勝」

四ヶ町役場職員球技大会

南隅四ヶ町役場職員球技大会は、さる九月四日田代町において開かれました。



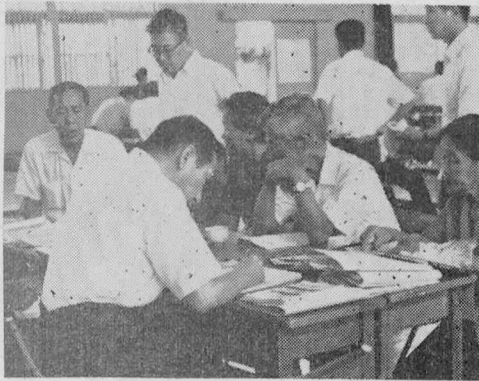
競技種目に野球とバレーボールを取り上げ、盛んな声援の中で熱戦が展開されました。結局本町の野球部は予想されていたように昨年に続き優勝しました。しかし、バレーボールは残念ながら最下位となっておりま

この大会は、隣接町の職員の親睦をはかるために昨年から実施されたものです。いま行政面においても町民の生活範囲が町をこえて非常に広がってきていること、また、色々な行政政策を行うにも一町だけでは充分な効果が得られないことなど、関係町が一致協力しあっている仕事ができつつあります。このようなことからこの大会も有意義であったといえま

軍人恩給、遺族援護がトップ

さる九月九日に大根占小学校屋体で巡回県民相談が開かれました。会場にははじまる前に約二十人位が待ちかまえているといった状況で、当日の相談者は九十六名にのぼりました。

相談担当者には県、町職員が当り相談者にわかりやすく応じておりましたが、最も多かったのが軍人恩給、遺族援護でした。保健所の診療車も参加、簡単な健康診断をし、非常に好評を得ておりました。



いろいろな資料を持参真剣に相談されていた

巡回県民相談から

毎年十月は、全国一斉に『小さな投資で近代化』をスローガンに掲げて中小企業退職金共済制度への加入促進強化月間が設けられています。

この制度は、中小企業の従業員の福祉向上と企業への定着をはかり、中小企業振興のために法律に基づいて制定されたものであり、各事業主が中小企業退職金共済事業団と契約を結び（各金融機関が窓口）従業員のための退職金として毎月掛金をかけ（全額免税）、従業員が退職したとき事業団が直接従業員に退職金を支払うものです。また、この制度の運営は、中小企業退職金共済法に定められた中小企業退職金共済事業団があたり、事業団の経費一切は、国庫でまかなわれているため、事業主が納める掛金や運用利益は、すべて退職金にあてられるしくみになっています。

加入できる範囲は、常時雇用する従業員が三百人（商業サービス業は五十人）以下の企業であれば、資本金などに関係なく加入できます。

掛金は、全額事業主負担で月額一人四〇〇円から四〇〇〇円までとなっており、掛金は途中で増額することができるようになっています。もし退職した場合の退職金の額は掛金月額と納付した月数によって計算され、納付期間が三年以上になると国庫補助金が加算されることになっており納付月数が長くなるほど有利になります。このほか、この制度に加入している事業所に対して、従業員のための住宅食堂など福利厚生施設を作るための必要な資金の融資を一〇〇万円まで受けられる利点があります。

以上あらましを述べましたが、建設業で働く労働者および酒造業で働く社員の方々にしては、別に制度があります。

なお、詳細については、県労政課・各労政事務所・商工団体および金融機関にお問い合せください。

中小企業の退職金

共済に加入を

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

秋の全国交通安全運動

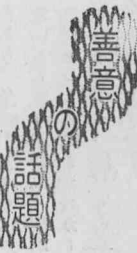
スローガン

- 1 県民みんなで交通事故を防ごう
- 2 太陽国体にしめそう交通道德

9月27日～10月6日(10日間)

十月は町県民税、国民健康保険税の第三期の納期となっています。納期内に完納いたしましょう。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません



次のかたがたから、それぞれご寄附くださいました。厚くお礼申し上げます。

△町社会福祉協議会へ
▲香典返しにかえて
神川上の故上鶴次郎さん
のご遺族、上鶴辰夫さんから
五千円
麓の故百枝サキさんのご遺族、百枝重孝さんから
一万円
皆倉の故中村ケサマツさん

のご遺族、中村邦一さんから
二万円
上之宇都の故宮下覚さん
のご遺族、宮下アサ子さん
から
五千円
塩屋の故厚ケ瀬敏三さん
のご遺族、厚ケ瀬雄雄さん
から
五千円
▲町広報紙送付の謝礼に
都城市にお住まいの旧姓
ち原拓子さんから
二千元
△県体出場の野球部へ
町内の三師会（医師、歯科
医師、薬剤師）から
二万円
△錦江園（老人ホーム）の

おとしよりのかたがたえ
旭町の堀之内鍼灸療院から
五千円
専売公社根占出張所から
タバコ
町役場職員組合青年婦人部
のかたがたから
菓子
十五日『敬老の日』に
すし久から
にぎり弁当
長浜ウエス工場から
菓子
英聖江会から
ナシ
上之園豊さんから
焼酎
高崎満寿男、ゆかり、博幸
さんから
バナナ